第５講　キリスト教

1　イエスの思想

①イエスの登場（１世紀）

A　出自

ユダヤ人の大工ヨセフを父，**マリア**を母として生まれる。30歳頃，預言者**ヨハネの洗礼〔バプテスマ〕**を受けた。

B　伝道活動

「時は満ち，**神の国**は近づいた。悔い改めて神の**福音**(ふくいん)〔エヴァンゲリオン〕（＝喜ばしい知らせ）を信じなさい」とパレスチナ地方の人々に呼びかけた。

※イエスは「神のものは神へ，カイザル〔皇帝〕のものはカイザルへ」と言い，具体的な国家ではなく，人々の精神的なつながりとして神の国が実現するとした。

※「心の貧しい人々は幸いである。天の国はその人たちのものである」

―山上(さんじょう)の垂訓(すいくん)―

C　**律法の内面化**

イエスは，神殿祭祀(さいし)中心主義のサドカイ派を無視した。また，律法中心主義のパリサイ派を形式主義として厳しく批判した。そして，本来の律法の精神に立ち返り，表面的な文字にとらわれず教えを実践することを説いた。

※パリサイ派が安息日に麦の穂を摘んだ人を非難したとき，イエスは「安息日は人のためにあるもので，人が安息日のためにあるのではない」と言った。

※姦通(かんつう)の現場で人々に捕らえられた女を前に「あなたがたの中で罪を犯したことのない者が，まず，この女に石を投げなさい」と言った。

D　神ヤハウェについて

当時のユダヤ教が，はるか天上の近寄りがたい「裁きの神」とみなしていたのに対し，人々（＝ユダヤ人に限らない）の身近にいる父のような「許す神」「愛の神」であるとした。

E　**神の愛〔アガペー〕**

無差別・無条件で万人(ばんにん)に注がれる愛。無償の愛。

※人々には「心を尽くし，精神を尽くし，思いを尽くして，あなたの神である主(しゅ)を愛しなさい」と，**神への愛**を説いた。

F　**隣人愛**(りんじん)**→**出会った全ての人を隣人と考える

イエスは「あなた自身を愛するように，あなたの隣人を愛しなさい」と言い，神の下(もと)で人を分け隔(へだ)てなく愛せば，公平と正義が実現された神の国が到来し，**最後の審判**で救われるとした。

※イエスは弟子たちと町や村を巡り歩き，ユダヤ教の社会規範に反してでも，社会的弱者とともにあろうとした。

G　イエスの**黄金律**(おうごんりつ)

「何事でも人々からしてほしいと望むことは，人々にもそのとおりにしなさい」と述べ，相手の立場に身を置いて接するよう説いて回った。

②イエスの死とキリスト教の成立（１世紀）

A　教えの浸透

民衆の多くはイエスを信じ，彼の教えに従うようになった。

※しかし，その伝道はユダヤ教指導者たちの反感を招いた。

B　イエスの死

30 年頃，ユダヤ教指導者たちは，イエスを「人々を扇動する反逆者，神を冒瀆(ぼうとく)する者，世を乱す者」だとして，ローマ帝国のユダヤ属州総督ピラトに訴えた。

※イエスは，**エルサレム**のゴルゴダの丘で**十字架**にかけられ処刑された。

C　**イエス＝キリスト**

ペテロを中心とした**使徒**(しと)（＝イエスの直(じき)弟子）たちの間で，十字架上で死んだイエスは**神の子**であり，**救世主〔メシア，ギリシャ語でキリスト〕**であるという教えが説かれた。

※イエスは神によって３日目に**復活**したと説き，これを信じる者は罪を許され，新たな永遠の命を生きることができるという信仰が生まれ，**キリスト教**が成立した。

２　キリスト教の拡大

①パウロと異邦人伝道（１世紀）

パウロ（？～65年頃）は，パリサイ派のユダヤ教徒として，キリスト教を迫害していた。しかし，イエスの死の２年後，劇的な**回心**（かいしん）を経験し，以後はキリスト教の伝道を行った。

A　**贖罪思想**（しょくざい）

パウロは，神の子イエスの教えと十字架上の死を，人間が宿命的に背負う**原罪**（げんざい）をあがなうものと説いた。

※原初の人間とされる**アダム（♂）とイヴ（♀）**は，エデンの園で神の言いつけに背き，禁断の果実を食べて追放されたとされる（＝楽園追放）。

B　**信仰義認説**（ぎにん）

パウロは，キリスト教信仰の核心を「人が義（＝正しく誠実な魂の状態）とされるのは，律法の行いではなく，イエスの福音への信仰による」とした。

C　**キリスト教の三元徳**（さんげんとく）

パウロは，**信仰**と**希望**と**愛**をもって生きることを人々に説いた。

D　**異邦人伝道**（いほうじん）

パウロは，神の愛や贖罪思想は異邦人（＝ユダヤ人以外の民族）にも及ぶとして，パレスチナ地方以外の地中海沿岸にも伝道し，キリスト教が**世界宗教**になる基礎を築いた。

※ペテロらが創始し，パウロが教義を確立した初期のキリスト教を原始キリスト教という。

②キリスト教の拡大（１世紀～４世紀）

ペテロ（＝ローマ教会の創始者）やパウロの伝道により，キリスト教は社会的弱者を中心に**ローマ帝国**全土に広がり，上層市民にも信徒が現れるようになる。この過程で『**新約聖書**』がギリシャ語で記され，ユダヤ教の『旧約聖書』とともにキリスト教の聖典となった。

64年　ネロ帝の迫害

　※ペテロやパウロがローマで殉教（じゅんきょう）。

303年　ディオクレティアヌス帝の大迫害

313年　コンスタンティヌス帝が**ミラノ勅令でキリスト教を公認**

　※最高指導者が**教皇**（きょうこう）**〔法王〕**を名乗る**ローマ教会**を中心に勢力を伸ばす。

325年　**ニケーアの公会議**

　※**アタナシウス派が正統**，アリウス派は異端とされる。

※のちアタナシウス派の説は**「神」「神の子キリスト」「聖霊」を同一**とする**三位一体説**（さんみいったい）として確立され，正統教義の根本となった。

392 年　テオドシウス帝によりアタナシウス派**キリスト教がローマ帝国の国教**となる

③教父（きょうふ）哲学とアウグスティヌス（４世紀末～５世紀前半）

キリスト教が国家権力と結びついていくにつれ，一般信徒を指導する聖職者身分が成立し，**ローマ教会**の組織化が進んだ。その過程で，教義を明文化・体系化し，教会の権威や神学の確立に貢献した教会公認の神学者･理論家を**教父**といい，彼らが確立した思想を（古代）**教父哲学**という。

A　**アウグスティヌス**（354 ～ 430 年）

主著『**告白**』によれば，放蕩（ほうとう）生活→マニ教→アリストテレス哲学→新プラトン主義哲学から，偶然聞こえた隣家の子どもの「取って読め」という声に誘われ聖書を読み，32 歳でキリスト教に回心。

※のち『**三位一体論**』『**神の国**』を著し，教会の正統教義や権威を拡大して「**最大の教父**」と呼ばれた。

B　**神の恩寵（おんちょう）と恩寵予定説**

アウグスティヌスは「全ての人間は原罪を背負っているので，自由意志ではなく神からの一方的な無償の恩恵（おんけい）によってのみ救済され，善に向かうことができる」と考えた。

そして，誰が救われるかはあらかじめ決められているとし，神の絶対性を説いた。

C　**七つの徳**

ギリシャ哲学も学んだアウグスティヌスは，キリスト教の三元徳（信仰・希望・愛）にギリシャの四元徳（知恵・勇気・節制・正義）を取り込んだ。

※ユダヤ教・キリスト教の思想〔ヘブライズム〕と，ギリシャの思想〔ヘレニズム〕を融合させ，続く中世の思想基盤をつくることになった。

④ローマ=カトリック教会とギリシャ正教会〔東方正教会〕(11世紀)

A　ローマ教会（西ローマ帝国のちフランク王国）

西の**ローマ教皇**を最高指導者とする**ローマ＝カトリック教会**に発展。

B　コンスタンティノープル教会（東ローマ帝国〔ビザンツ帝国〕）

東のビザンツ皇帝を最高指導者とする**ギリシャ正教会〔東方正教会〕**に発展。

⑤スコラ哲学とトマス＝アクィナス（12世紀～13世紀）

中世の西ヨーロッパでは，**ローマ＝カトリック教会**の絶大な権力が行き渡っており，当時の学者・知識人とは，聖職者や修道士であった。**スコラ学**は，神学と哲学を中心とする総合的学問で，特にその哲学部分を**スコラ哲学**といった。

A　**「哲学は神学の婢（はしため）〔侍女（じじょ）〕」**

当時は**神学が最高の学問**とされ，東のビザンツ帝国やイスラーム世界から流入したギリシャ哲学や自然科学は低い地位に置かれた。

※しかし，スコラ哲学は，11世紀末～13世紀まで続いた十字軍の遠征によって東西文化の交流が深まる過程で合理化・体系化され，教会唯一の公認哲学となった。

B　**トマス＝アクィナス**（1225頃～1274年）

修道院に入った後，ナポリ大学で**アリストテレス哲学**を知る。家族の反対を振り切ってドミニコ会に入り，パリ大学で神学を学び，のち教授となり各地で講義を行い（中世）**スコラ哲学を大成**した。

※主著『**神学大全（たいぜん）**』で信仰（＝神学）と理性（＝哲学）の区別を論じ，それらは相反するものではなく，理性が信仰を補う存在と考え，**信仰の優位**を維持しつつ，両者の**調和的な統合**をはかった。

〈*Note*〉

第５講　倫理確認テスト

1　キリスト教における「神の喜ばしい知らせ」を何というか？

①　十戒　　②　律法　　③　洗礼　　④　福音

2　キリスト教における「愛」としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　友愛〔フィリア〕　　②　神の愛〔アガペー〕

③　神への愛　　④　隣人愛

3　イエスの言葉を次から一つ選べ。

①「汝自身を知れ」

②「自然に従って生きよ」

③「あなたには，私をおいて他に神があってはならない」

④「何事でも人々からしてほしいと望むことは，人々にもそのとおりにしなさい」

4　イエスが十字架にかけられ処刑された，キリスト教の聖地とは？

①　アテネ　　②　バビロン　　③　エルサレム　　④　ローマ

5　ローマ教会の創設者（初代ローマ教皇〔法王〕）とされる使徒とは？

①　ヨハネ　　②　ペテロ　　③　ユダ　　④　パウロ

6　キリスト教の三元徳としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　正義　　②　信仰　　③　希望　　④　愛

7　アタナシウス派の三位一体説の「三位」としてふさわしくないものを一つ選べ。

①　神　　②　神の子キリスト　　③　聖霊　　④　教皇〔法王〕

8「最大の教父」アウグスティヌスの著書としてふさわしくないものを一つ選べ。

①『告白』　　②『三位一体論』　　③『神の国』　　④『神学大全』

9　中世で最高の学問とされたものは？

①　哲学　②　神学　③　自然科学　④　心理学

10　中世スコラ哲学者の大成者とは？

①　ディオクレティアヌス帝　②　アウグスティヌス

③　トマス＝アクィナス　④　エラスムス

解答

1　④	2　①	3　④	4　③	5　②
6　①	7　④	8　④	9　②	10　③